



(公社)鹿児島県診療放射線技師会

会報

令和4年3月

第134号



公益社団法人 **鹿児島県診療放射線技師会**
鹿児島市東坂元四丁目28-11
TEL 099-248-0028
FAX 099-248-0028

目次

巻頭言 鹿児島県診療放射線技師会

会長 太田原 美郎 1

お知らせ

診療放射線技師法改正に伴う告示研修（実技研修） 3

ホームページリニューアルのお知らせ 4

報告

令和3年度 鹿児島県診療放射線技師会 リーダー育成研修会（開催報告） 5

第38回 市民健康まつり 開催報告 7

令和3年度 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会秋季学術大会 及び

第48回大隅地域研修会報告 8

令和3年度 鹿児島県放射線機器管理士部会研修会 開催報告 12

令和3年度 第23回 鹿児島MRI研究会 開催報告 14

令和3年度 鹿児島乳腺画像研究会の活動報告 18

鹿児島消化器画像・超音波研究会 合同開催報告

（第69回鹿児島消化器画像研究会 第19回鹿児島超音波研究会） 19

令和3年度鹿児島県原子力防災訓練 参加報告 21

会員投稿

かごしま国体、再び 22

漏洩線量測定事業のご案内 27

理事会議事録

令和3年度 第4回理事会議事録 28



年頭所感

鹿児島県診療放射線技師会会長 太田原 美郎

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては新たな年を希望に満ちた気持ちでお迎えの事と思います。昨年中は、鹿児島県診療放射線技師会ならびに日本診療放射線技師会の活動に多大なるお力添えをいただき誠にありがとうございました。

早いもので、新型コロナウイルス感染症の発症からもう2年が経とうとしています。しかし未だコロナは終息せず、年末にかけいったん落ち着きをみせた感染者数も年が明け新年を迎えるとともにアフリカを中心とした新たな変異種、オミクロン株の出現により再び増加の一途をたどり今や第5波を凌ぐ勢いとなっております。

今年こそコロナが克服され落ち着いて安心できる生活に戻れることを切に願います。会員の皆様をはじめ医療関係者の方々は過酷な医療の現場でコロナ患者の治療に奮闘し、行政ならびに各医療機関はそれぞれの立場で医療を支えてくださいました。皆様のご苦勞に改めて敬意を表するとともに感謝をいたします。

2021年は、このような長いトンネルの中のような暗い一年ではありましたが、明るい元氣をもらえることもいくつかありました。一年遅れで開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、日本選手団は過去最多のメダル数を獲得する活躍を見せてくれました。特に水泳の池江璃花子選手においては、メダル獲得はならなかったものの闘病からの復活には多くの国民に勇氣を与えてくれたのではないのでしょうか。また MBL の大谷翔平選手がリアル二刀流で活躍しアメリカン・リーグ MVP を受賞しましたし。私の好きなゴルフでは松山英樹選手が日本人初（東洋初でもある）のマスターズ・トーナメントで優勝を飾りました。国内に目を向けても藤井聡太棋士が最年少四冠を達成するなど多くの明るい話題もありました。

さて、私達診療放射線技師の新年を考えてみますと、昨年10月1日から施行された法改正に伴い、新たに業務範囲が拡大され、それに伴う告示研修を受講していかななくてはならない年となりました。

「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案」が第204回国会（常会）において2021年5月21日に成立しました。この法律案は、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進する観点から、医師の働き方改革、各医療関係職種専門性の活用、地域の実情に応じた医療提供体制の確保

を進めるため、長時間労働の医師に対し医療機関が講ずべき健康確保措置等の整備や、地域医療構想の実現に向けた医療機関の取り組みに対する支援の強化等の措置を講ずることを目的としています。

各医療関係職種の専門性の活用の中に、タスク・シフト/シェアを推進し医師の負担を軽減しつつ、医療関係職種がより専門性を生かせるよう各職種の業務範囲の拡大を行うこととされ、診療放射線技師法の改正も含まれました。

基礎研修のほうは昨年7月より既にオンデマンドで開催されております。実技研修は、コロナウィルス感染症の影響により当初の予定より遅れており、鹿児島におきましては今年の3月より第一回目の研修が始まる予定であります。

今回の法改正で拡大された業務を実際の業務として行うかどうかは、それぞれの施設での判断となりますが、この告示研修の内容と趣旨を理解していただけるような働きかけが必要だと考えております。

また今回の告示研修には、2015年より行われおります統一講習会の内容は含まれておりません。この統一講習会に法的な受講義務はありませんが、診療放射線技師としての責任と安全な医療の提供を果たすためにも受講すべき講習会として捉え、これまでに講習会の開催を重ねてまいりました。しかしながら、鹿児島県における受講率は50数%ほどにとどまっております。今回の告示研修にいたっても統一講習会のような受講率では「医療従事者としての資質・モラルに欠ける！」と各施設において診療放射線技師の業務拡大のコンセンサスを得るのは難しくなるのではないのでしょうか。一人でも多くの方にこの告示研修を終了していただけますようお願いいたします。

コロナウィルス感染症の影響で、一開催毎の定員が少なめになることが予想されますので研修の回数を多くして対応してまいりたいと考えております。研修開催が決定され次第、会員の皆様には随時広報してまいりますので県技師会HP等でご確認ください。

この長期にわたるコロナ禍により社会全体における閉塞感が漂う中、技師会におきましても様々なイベントや勉強会等も自粛を余儀なくされ、会員同士のコミュニケーションも希薄になってきたように思います。

コロナの終息後には社会の変容、暮らしの変化は顕著になることを考えますと、技師会のあり方、活動の方法も変えていかなくてはならないのではないかと感じております。ここ2、3年のこのコロナの波を乗り越え、10年後、20年後も見据えた体制を築いていかなくてはならないと考えております。

最後に、新しい年が会員の皆様のお一人お一人にとりまして充実した佳き年となりますことを祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



診療放射線技師法改正に伴う告示研修(実技研修) ～(公社)鹿児島県診療放射線技師会の今後の対応について～

向春の候、会員の皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は(公社)鹿児島県診療放射線技師会活動へのご理解とご支援頂きまして、誠に有難うございます。

さて、厚生労働大臣が指定する上記実技研修会を主催の(公社)日本診療放射線技師会(以下JART)からの委託を受けまして、(公社)鹿児島県診療放射線技師会としましては、下記日程で実施を予定しています。

【令和3年度】

3月6日(日) 鹿児島医療技術専門学校(平川キャンパス)

【令和4年度】

5月22日、8月21日、11月27日、1月22日

(予備日6月19日、2月19日)

9時～18時の1日間 計年4回 会場未定(当面鹿児島市内)

(注:上記日程は、あくまでも現時点での予定です。コロナ感染拡大状況や講師などの都合で変更になる場合がありますのでご了承下さい)

その他、募集要項は、

【受講資格】

e-ラーニングによる告示研修(基礎研修)修了(合格)者

【受講者数】

48名

【受講料】

会員 10,000円 非会員 20,000円

【その他】

統一講習会受講終了者は、受付開始日の1週間前から優先受付実施

本年度3月の実技研修会は、既に募集が終わっていますが、来年度開催予定の実技研修会につきましては、JART及び県技師会HPでご案内しますので宜しくお願い致します。尚、本実技研修には、統一講習会で修得される実技研修(抜針など)がありませんので、JARTからの推奨もあり、来年度、統一講習会の開催も予定しています。まだ受講されてない方がいましたら、本行為実施の際の安全を担保するために、セットで受講されることをお勧め致します。

以上、本実技研修の開催に関するお問合せは、

(公社)鹿児島県診療放射線技師会 担当 川内市医師会立市民病院 放射線課

0996(23)4418 藤崎(拓)まで

ホームページリニューアルのお知らせ

鹿児島県診療放射線技師会 福利厚生 西 憲文

今年度、ホームページの全面リニューアルに向けてワーキンググループを立ち上げ、令和4年度からの運用にむけて準備を進めています。

今回のリニューアルでは、一般の方、会員にとってより使いやすく快適にご利用いただけるように構成やデザインを全面改善していきます。パソコンの他にスマートフォンやタブレットからも、快適にご利用いただけるホームページ作成を進めています。このリニューアルに伴い、お役に立てるような最新情報も積極的に発信しより使いやすいサイトにしたいと思っております。

これからも引き続きよろしく申し上げます。



TOPICS - 最近の投稿から -

投稿日	タイトル	区 分
令和4年2月9日	鹿児島県消化器画像研究会・超音波研究会 合同開催	研究会等募集
令和4年2月9日	令和3年度 鹿児島・始良地域研修会	研究会等募集
令和4年2月9日	第23回 鹿児島 MRI 研究会のご案内	研究会等募集
令和4年2月9日	第78回九州画像診断研究会	研究会等募集
令和4年2月5日	X線撮影	診療放射線技師が行う検査

EVENT - 研修会・イベント -

開催日	申し込みフォーム
令和4年2月9日	鹿児島県消化器画像研究会・超音波研究会 合同開催
令和4年2月19日	令和3年度 鹿児島・始良地域研修会
令和4年2月4日	第23回 鹿児島 MRI 研究会のご案内
令和4年3月5日	第78回九州画像診断研究会

2月 2022

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26

令和3年度 鹿児島県診療放射線技師会 リーダー育成研修会(開催報告)

鹿児島県診療放射線技師会 学術担当 藤崎 誠

令和3年度 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 リーダーおよびリーダー育成研修会が令和4年1月15日(土)14時30分~16時 オンラインにて開催されました。

今回は「管理職におけるアンガーマネジメント」という内容で、放送大学熊本学習センター 客員准教授 河添博幸 先生に自身の感情コントロール、部員の指導方法や対応方法などについて講演していただきました。

会員47名の参加があり、心理療法家でもある河添先生からは、管理職として必要な感情のコントロール、部員の指導方法に関わる色々な考え方、知識を熱っぽく講演して頂き、部署の雰囲気づくりの大切さを実感できる非常に有意義な講演会となりました。

研修会終了後には講演資料取り寄せの問い合わせ等も複数あり、興味深い内容であったことをうかがい知ることができました。

「管理職におけるアンガーマネジメント」

放送大学熊本学習センター 客員准教授 河添博幸

【講演要旨】

まずは謙虚な気持ちで講演を聴いて下さいというメッセージから講演がはじめられた。自分自身のパーソナリティを知り、自己を理解することが重要である。感情は存在して当たり前であり、人が絡むと感情的になりやすいこと。感情はモチベーションや競争心を持つという良い側面もあることをそのメカニズムを示して、また多くの事例を示してお話いただいた。

感情のエクササイズについて8つのこと。

1. 「6秒ルール」と「呼吸+大切な人」
2. 「Iメッセージ」で伝える
3. 人を主語にして考えない
4. 「さん」づけで呼び、丁寧な言葉遣いを心がける
5. 快適な環境下で仕事をする
6. 小さな親切を心がける

7. 感動的なドラマや映画を観る
8. 一方的に思い込まない

最後に

1. 他者を変えようとしな
2. 自分と他者を比べない
3. 他者に振り回されない
4. 謙虚さを忘れない

という言葉で講演を締めくくった。

アンガーマネジメントには謙虚さというのが一番の肝であるのだろうと感じられた。



河添博幸先生



河添先生と太田原会長



ライブ配信風景

【参加者】

秋葉裕史 木場淳 副島恭平 牧野竜大 池田真一 伊藤大助 淵脇崇史 藤崎拓郎
 永山照明 瀬戸口勲 平田勝 日高浩文 溝下育男 飯伏順一 松下啓 大迫俊一
 藤崎誠 上釜健作 橋口満 市来守 中村克也 新村栄次 田川伸夫 舟田悟
 二間瀬竜太 市園淳二 坂本幸望 有蘭良一 東幸治 井ノ上祐二 坂下周一郎
 中村晋輔 三園幸一 脇田慎一 吉野健 松山芳郎 三反田正紀 鈴木涼馬 蓑田辰則
 恵智徳 泊誠一 愛下剛 濱田智太郎 四本齐 渡邊義治 吉村洋一 太田原美郎
 (敬称略)

第38回 市民健康まつり 開催報告

鹿児島県診療放射線技師会 総務理事 脇田 慎一

市民健康まつりは、市民に健康の重要性および定期検診などの必要性について関心を喚起し、認識を深めることを目的として開催されています。今年度は新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催となりました。

鹿児島市や各職団体が9つの動画を作成し、令和3年11月14日～11月28日の期間に「チャレンジしよう！オンラインで健康づくり」としてYouTubeにて無料配信されました。

鹿児島県診療放射線技師会からは、例年骨密度測定を提供していたので、「骨密度検査と骨粗鬆症について」の動画を作成いたしました。動画内では、診療放射線技師の仕事の紹介と骨密度検査の測定法や結果の見方、骨粗鬆症にならないためのアドバイスなどを情報提供しました。

短い期間でしたが9つの動画合わせて、2699回の視聴回数がありました。

最後に動画作成に際してご協力いただいたスタッフの皆様にお礼申し上げます。

38回 市民健康まつり
 チャレンジしよう！ オンラインで健康づくり
 無料配信 / 11.14日～11.28日
 家族みんなで学べる！楽しめる！役立つ情報盛りだくさん！

実演映像 10分：自宅ですべてできる新型コロナウイルス感染対策
 映像 10分：骨密度検査と骨粗鬆症について
 講演 10分：コロナ禍におけるお口の健康について
 実演 20分：いつものカレーでたっぷり野菜
 講演 20分：がん予防とアウェアネス
 講演 10分：鹿児島よかよか体操とフレイル予防に役立つ体操
 講演 20分：もっと知りたい認知症とは？
 講演 15分：いばという時に役立つ情報をお届けします！
 映像 5分：鹿児島市らくらく体操

YouTube 配信はコチラ
 鹿児島健康まつり実行委員会事務局
 (鹿児島市五輪会内)
 TEL099-226-3737
 (平日9:00～17:30)
<https://www.youtube.com/channel/UCM9p2716-AJ3A2J0w>

令和3年度 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会秋季学術大会 及び第48回大隅地域研修会報告

医療法人 愛誠会 昭南病院 熊谷 繁夫

コロナ禍の技師会活動として、学術大会及び地域研修会を新しい方式として、令和3年10月30日(土)にWeb形式にて開催いたしました。参加人数は32名(JART会員)で、大隅地域の担当開催でしたが、大島地域を含め、県内各地から参加を頂きました。内容は、以下の通りです。

【プログラム】

【開会の挨拶】

(公社)鹿児島県診療放射線技師会大隅地域理事
熊谷 繁夫

【技師会長挨拶】

(公社)鹿児島県診療放射線技師会会長
太田原 美郎

【技師会報告】

「診療放射線技師法改正に伴う告知研修会について」

(公社)鹿児島県診療放射線技師会 藤崎 誠

【話題提供】

「COVID-19肺炎画像解析プログラムについて」

富士フィルムメディカル株式会社 西岡 大貴

【フレッシュアップ】

「これだけは押さえておこう！胸部撮影の基礎知識」

明成会 塩川医院 山下 達也

【教育講演1】

「感染管理(covid-19)含む」

医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院 感染管理認定看護師長 仮重 喜代美

【教育講演2】「肺CT、COVID-19の所見をふまえて」

医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院 放射線科医長 小林 秀章

【閉会の挨拶】

(公社)鹿児島県診療放射線技師会大隅地域理事
熊谷 繁夫

まず、鹿児島県診療放射線技師会の太田原会長より、コロナ禍での技師会活動をどの様に行っていくか報告があった。

技師会報告では、診療放射線技師法改正により、今後どのように、対応すべきか鹿児島県診療放射線技師会の藤崎理事より報告があった。

その他、全体として、COVID-19の話題を中心に行った。富士フィルムメディカル株式会社の西岡氏からは、CT画像からCOVID-19の肺炎像をワークステーションのソフトで見つけだす最新の手法が紹介された。セミナーとして、胸部撮影について、一般撮影からCT撮影まで基本的なことから最新の手法まで、塩川医院の山下氏にレクチャーして頂いた。

見落としやすいポイントを押さえる

- 肺尖部
- APwindow
- 肺門部
- 肋骨同士の重なり
- 心陰影との重なり
- 背部(後方)横隔膜

胸部領域のCTに必要なことは？

- ・軟部組織用の低コントラスト分解能
- ・肺野用の高コントラスト分解能(撮影条件、再構成関数)
- ・多方向からの画像(スライス厚、再構成間隔)

↓

**撮影条件、スライス厚、再構成間隔
再構成関数が重要!!**

肺がんCT検診(低線量CT)について

低線量の定義はCTDIvolが理想
(佐川班:CTDIvol 4mGy以下)

対象者は健常者
→ 被ばくは最小限が理想
胸部XPと同等の線量で検査は可能か？
→ 逐次近似再構成、Tin filter technologyで超低線量撮影が可能
低線量CT画像はノイズやストリークアーチファクトが目立つXPに比べ見えすぎる
→ 良性疾患も経過観察対象に
CTは完璧か？
→ 進行の早い肺癌の存在(検診の約3%)

本日のまとめ

胸部領域の検査に関して、基礎的な部分を重点に講演しました。

読影能力が問われることが多い最近では、病変の検出や、症例のパターンなどの教育や学習に力を入れ、撮影技術や画質評価、撮影条件設定などが軽視される傾向にあります。

読影が得意な技師やDrでも見えないものは評価できないことを念頭に置いて、性能評価、撮影条件などメーカー任せにせず、我々自身で画質をよくしよう！被ばくを減らそう！という放射線技師としての原点を忘れないようにしましょう。

↓

読影に適した画像を提供する環境、技術が重要！

教育講演1では、大隅鹿屋病院の仮重先生に COVID-19 も含め感染対策の方法について、講演を行っていただき、日常からの感染対策の重要性を再認識させられた。

相手も自分も安全に助けなければいけない・・・

流血・喀血している

触ったら熱い

嘔吐・失禁している

新型コロナウイルス感染症で使用する PPE (個人防護具)

同じ新型コロナウイルス感染症なのに？

個人防護服 (PPE) はどうやって選んでいますか？

まとめ

感染対策・・・
何か一つこれだけをやっておけばいいというものはありません。

てあらい

うがい

マスクをしよう

こまめな換気

人ごみを避ける

教育講演2では、同じく大隅鹿屋病院の放射線科医長である小林先生に COVID-19 による肺炎像の特徴を中心の他の感染症についても解りやすく解説して頂いた。

浸潤影

肺血管がみえないほど濃厚な高吸収域で、容積減少のない陰影

浸潤影は本来「infiltration」ですが、通常は「consolidation」として用いられ、融合影・均等影と表現することもあります。

すりガラス影

肺野の血管が透見される程度の軽度高吸収域

肺胞

肺胞間質が厚くなる

狭義間質病変

肺胞内に水が溜まる

肺胞病変

機序は全く異なるが画像上はともにGGOと見える。

「肺CTは特異性なしと留意せよ」

同じような所見から多彩な疾患が鑑別にあげられるが、基本的にCTで最終診断は困難。臨床所見や検査データなどを総合して判断すべきである。

レジデントのための画像診断の特別
山下達也

全体的に、事前録画方式が主になり、ライブでの質疑応答が出来なかった部分も多々あり問題点もあったかと思いますが、皆様のご協力により無事に行うことが出来ました。

(参加者)

- 元俊晶 永山崇臣 藤崎誠 相川晃太 熊谷繁夫 山本秀明 大迫俊一 藤崎拓郎
 山下達也 坂本幸望 宮元涼平 副島恭平 橋本隆志 島見未治 中村克也 市園淳二
 石原剛 三園幸一 西憲文 富永有樹 伊藤大助 足立誠 愛下剛 原昌勝己
 黒原泰樹 南和成 久保ゆかり 橋口満 山中仁 坂口右己 平山孝 深水武



太田原 美郎 技師会会長

熊谷 繁夫 大隅地域理事



山下 達也 技師

仮重 喜代美 先生

小林 秀章 先生

令和3年度 鹿児島県放射線機器管理士部会研修会(開催報告)

放射線機器管理士部会 部会長 藤崎 拓郎

令和3年度の鹿児島県放射線機器管理士部会研修会が下記の日程・内容にて開催されました。

今回は、「機器管理の実際」として放射線医療機器管理システムの紹介とテーマ討論は、『撮影装置の線量管理システムと被ばく線量管理システムの管理及び連携』と題して、モダリティ別にその最新情報を紹介してもらい現時点での使用する方からの疑問点や問題点など討論の場を企画しました。

放射線医療機器の管理は、現在のところ CT 装置、MRI 装置のみが法律でしばられていますが、近い将来、他のモダリティも管理の法的規制がなされること、また、放射線検査における医療被ばくの管理もコロナ禍で保健所監視が現場実施されていない状況ですが、今後規制強化されるものと予想されています。各病院の管理者の方も装置の新規導入にあたりその辺りの対応に苦慮しているものと思われます。今回のメディカルクリエイトさんの放射線機器の管理システムは、大学、市立、今給黎病院と代表的な病院に導入されていて、使用経験の発表もあり参考になったのではと思います。

討論会では、島津製作所、キャノンメディカルシステムズ、シーメンスヘルスケアさんから、それぞれのモダリティ別にさらに進化した管理システムの紹介があり、どのシステムも各装置、メーカーで特色のある管理が完結していて、それらを導入したら間違いないと思われました。一方、コニカさんからは、放射線部門単位で考えた各装置メーカーをまとめて管理できるシステムの紹介や Ai を使った医療事故防止の技術の紹介がありました。最終的にそれぞれの病院の規模、予算面で適した管理方法で行うことが大切ですが、管理者の方は、法的規制による管理方法として、きちっと予算を取って継続される形での医療機器、放射線医療被ばく管理を考慮、構築して欲しいと思います。その際の今回の研修会が参考になったのであれば幸いです。また、これら医療機器、放射線医療被ばく管理などの導入の際は、この会で報告して下さいますよう宜しくお願い致します。

【日程及びプログラム】

日時：令和4年1月22日(土) 15時～18時

場所：Web開催のみ(Webex Meetings)

参加費 放射線技師会員：無料 非会員：2000円

内容：

【県技師会活動報告】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会会長 太田原美郎

【部会活動報告】 鹿児島県放射線機器管理士部会 部会長 藤崎 拓郎

1. 放射線機器管理士部会 活動報告
2. 放射線関連機器故障・事故調査に関して

【機器管理の実際】 15:15～16:00 司会：川内市医師会立市民病院 藤崎 拓郎

『放射線機器の管理』

放射線機器管理システムの紹介

メディカルクリエイト 玉木 雄二 先生

施設報告

鹿児島市立病院 米田 寛彬

【テーマ討論】 16:10～18:00 司会：鹿児島市立病院 西元 辰也

『撮影装置の線量管理システムと被ばく線量管理システムの管理及び連携』

1. X線撮影装置・X線透視装置
(株)島津製作所 医用機器事業部 グローバルマーケティング部 田中 修二 先生
2. CT装置
キャノンメディカルシステムズ(株)九州支社 営業推進部 小竹 啓介 先生
3. 血管造影装置
シーメンスヘルスケア(株)アドバンスセラピー事業本部 端野 豪 先生
4. 線量管理システム
コニカミノルタジャパン(株)ヘルスケアカンパニー 九州支社 奈良 翔太 先生
5. 施設報告 鹿児島市立病院 隈 浩司

【参加者氏名】

副島 恭平 池田 真一 藤崎 拓郎 米重 寛彬 大藪 建 隈 浩司 秋葉 裕史
三反田 正紀 橋口 満 西元 辰也 前田 健一郎 舟田 悟 大迫 俊一 東 幸浩
山下 翔護 蓑田 辰則 藺田 大樹 山下 大介 吉村 洋一 中村 晋輔 愛下 剛
玉木 雄二 田中 修二 端野 豪 渡邊 和幸 奈良 翔太 古賀 方議 上村 元
中野 慎也(順不同、敬称略)

令和3年度 第23回 鹿児島MRI研究会開催報告

鹿児島大学病院 岩永 崇

第23回鹿児島MRI研究会が令和4年2月4日18:30よりWeb配信という方式で開催されました。基礎講座として「拡散強調画像の基礎」について鹿児島大学病院の大塚技師にレクチャーを頂き、施設報告として「MRI検査室の安全管理」について4施設よりご報告を頂きました。研究会として初めてのWeb開催ではありましたが、事前登録者が74名あり、当日も多くの方にご参加頂きました。参加頂いた会員の皆様に厚く御礼申し上げます。尚、今回より本会の代表世話人を藤崎拓郎氏より岩永が引き継ぐこととなりました。長年本会の発展を牽引して下さった藤崎氏に敬意を表すると共に、今後も鹿児島県内のMRI検査の情報交換の場として定期開催と円滑な運営に世話人共々努めていきたいと思っております。会員の皆様にも施設報告等でご発表をお願いすることがあるかと思っております。その際は是非ご協力頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 日時 令和4年2月4日(金) 18:30 ~ 20:00
- 場所 Web開催

【内容】

基礎講座 18:30~18:50

『DWI初学者のためのレクチャー』

鹿児島大学病院 大塚 洋和

施設報告 18:50~20:00

『MRI検査室における安全管理の実際』

- | | |
|-------------|--------|
| ① いまきいれ総合病院 | 浮田 啓一郎 |
| ② 鹿児島大学病院 | 岩永 崇 |
| ③ 南風病院 | 中原 武志 |
| ④ 今村総合病院 | 西田 崇友 |

ディスカッション 10分

世話人: いまきいれ総合病院:浮田 啓一郎, 池田 真一/南風病院:中原 武志/
大隅鹿屋病院:永山 崇臣/わきた内科・脳神経内科:浅井 愛邦/
鹿児島大学病院:岩永 崇,大塚 洋和/
川内市医師会立市民病院:藤崎 拓郎

【基礎講座】DWI初学者のためのレクチャー

鹿児島大学病院 大塚 洋和

拡散現象から拡散強調画像の基礎的な内容について発表した。MRIにおいて拡散強調画像は重要なシーケンスであり、MRI画像診断において必要不可欠な画像である。信号強度式からTRやTE、b値といったパラメータがどのような影響を及ぼすか実際の拡散強調画像を示した。任意のb値の拡散強調画像はb=0の拡散強調画像からの信号減衰画像であり、臨床においては設定b値と加算回数の調整にて画質を担保しなければいけない。また、頭部MRIでの拡散強調画像の位置付けは高いため、MRI担当ではない診療放射線技師の方々の拡散強調画像の再確認の機会になれば幸いである。

拡散強調画像の信号強度式

$$S_b = \rho \times (1 - e^{-TR/T1}) \times e^{-TE/T2} \times e^{-b \times D}$$

↓ T1項 ↓ T2項 ↓ 拡散強調項

S_b : ある任意b値における信号強度
 ρ : プロトン密度
TR: 繰り返し時間
TE: エコー時間
T1: 組織のT1値
T2: 組織のT2値
D: 拡散係数(mm²/sec)
b: 拡散強調の程度を示す装置側のパラメータ(sec/mm²)

各b値におけるDWIの変化(同一TE)

b=0 b=200 b=500 b=1000
b=1500 b=2000 b=3000 b=4000

本日のまとめ

- ▶ 生体内の水分子の制限拡散
- ▶ b=0からの信号減衰画像
- ▶ 高b値は加算回数でSNRの調整を

組織の拡散を画像化できる唯一無二のシーケンスであり、臨床MRIにおいて最も重要な画像です!

【施設報告】 MRI 検査安全管理の実際

鹿児島大学病院 岩永 崇

鹿児島大学病院のMRI検査の安全管理について右に掲載のトピックスについて施設報告を行った。2020年度の診療報酬改定の際に「MRI装置の適切な安全管理」が示されて以降、我々の施設でも安全管理のためのマニュアルやワークフローの整備と見直しを行ってきた。他の施設の報告を聞くとまだまだ足りない部分があるなど感じたのと、病院の規模上、正直動きづらい所もあるので少しずつ改善していきたいと感じた。また、当院で検査対応しているMRI対応体内埋込デバイスであるDBSについて検査手順や撮像のパラメータ設定などを紹介した。SARを抑えるにはデューティーサイクルを下げるべくTRを延長する手法がほとんどであるが、FAを浅くする、パラレルイメージングの活用なので撮像時間を延長させない撮像も可能である。今回の発表が参加された方々のMRI安全管理に役立つ情報となることを期待したい。

Topics

- 安全管理体制
- 検査前の安全管理
- 検査中の安全管理
- 造影剤使用の安全管理
- MRI装置の品質管理
- 非常時の安全管理

- MRI対応体内埋込デバイス
 - 脳深部刺激療法 (DBS)



【施設報告】 MRI 室における医療安全の取り組み

(公財)慈愛会 今村総合病院 西田 崇友

【背景】

2020年診療報酬改定で画像管理加算2または3においてMRI安全管理が要件に加わった。

【目的】

当院では画像管理加算2を取得していたため要件を満たすためさまざまな取り組みを行った。それらを踏まえて当院で行っている医療安全の一部を紹介する。

【当院の安全管理対策】

- ①安全管理体制の概要
 - (A) 当院の安全管理体制
 - (B) 医療安全講習会
- ②検査に関する安全管理
 - (A) 業務フロー
 - (B) 各種問診・同意書
 - (C) 検査時の安全管理（鎮静、感染対策、条件付きデバイス）

当院の安全管理対策では上記の一部の対策が挙げられる。

【結語】

MRI検査に慣れてくると注意確認が雑になっていると感じた。MRIは安全管理を怠ることで重大な事故につながる可能性があるため、他部署との連携や情報共有、教育講習は重要だと感じた。ヒヤリハット事例などを通して当院の安全管理の甘い部分を見つめ直し、他の診療部と連携を取りながら安全管理を強化していきたい。

鹿児島乳腺画像研究会の活動報告

鹿児島乳腺画像研究会 隈 浩司

鹿児島乳腺画像研究会は、今年度、全面的に相良病院協力のもと、3回の勉強会を配信しました。

1回目(12月16日)は、テーマを「ポジショニング」として、乳癌 Topics: 新乳房構成について、乳房内の乳腺の範囲の明確さにより、定量的にも、見た目にも乳房内の乳腺の構成について発表してもらった。2.施設認定の結果からポジショニングの振り返りを行うことで、ポジショニングの重要性についての発表があった。

2回目(2022年1月19日)は、「乳がん検診」をテーマに、「1.乳癌 Topics: 総合判定、J-START についての発表」より、乳がん検診の現状について、問題点を含めて今後の超音波検診への期待が示された。「2.USを知ってMGを深める」について、症例を提示しながら、MMGでの限界なども示された。特に、FAD(カテゴリー3)について、良悪性の検証も示された。

3回目(2022年2月24日)は、「精密検査」について、「1.乳癌 Topics: PPV3 乳がん取扱い規約第4版」と「2.明日から実践したくなる追加撮影」について発表の予定である。

毎回、40名から50名くらいの参加人数であり、WEB配信により、県外からの参加者もあり、研究会開催の企画運営の良さを示せたと思われる。2022年度も開催していきたい。今後とも、会員、非会員を問わず、沢山の方々へ提供できればと思っています。乞うご期待ください。

鹿児島消化器画像・超音波研究会 合同開催報告

(第69回鹿児島消化器画像研究会
第19回鹿児島超音波研究会)

鹿児島消化器画像研究会 日高 稔

令和4年2月9日(水)、本研究会では初となるweb開催にて鹿児島消化器画像研究会と鹿児島超音波研究会の合同開催し、43名(会員43名)の参加がありました。

プログラム1(消化管X線)では、南風病院の淵脇技師による『気をつけたい胃がん症例について』発表がありました。胃の良性と悪性の所見の現れ方の違いを画像対比しながら解説していただき、検診を行なう技師にも理解しやすい内容でした。次に、南風病院の日高技師による『鑑別が困難な炎症性腸疾患の1例』について症例報告がありました。炎症性疾患では所見は微細な変化から著明なものまで多彩なため、撮影時にはこれらを意識して検査を行なうことが重要と思われます。

プログラム2(超音波)では、『私の心に残った症例』として、腹部領域は、いづろ今村病院の上釜技師による発表がありました。超音波で臍全体を観察することは難しいため、早期臍癌を拾い上げることは簡単なことではないが、丁寧な走査と異常に気付いた際には、体位変換やプローブ変更など、技師の技術で変わってくると思われます。実際の症例を画像・動画を用い、解説していただき、これからの臨床においても役に立つ内容でした。次に、乳腺領域は、相良病院の原口技師による発表がありました。糖尿病性乳腺症という疾患は、画像だけでは悪性と鑑別が難しい症例であるため、超音波検査において技師を悩ます症例と思われます。今回、検査を行なう技師が疾患や画像所見を知ることで、今後の検査において役立つ内容でした。

新型コロナウイルス感染症のため2年ぶりの研究会開催となりました。今年度も感染状況を鑑みながら開催を予定しております。日程は技師会HP等にてご案内いたしますので、今年度も、会員、非会員問わず多くの方の参加をお待ちしております。

令和3年度鹿児島県原子力防災訓練 参加報告

相良病院 大迫 俊一

【令和4年度 鹿児島消化器画像研究会世話人】

代表 : 淵脇 崇史(南風病院)
副代表 : 米山 信司(鹿児島赤十字病院)
世話人 : 脇田 慎一(いづろ今村病院)
萩原 純久 (鹿児島厚生連病院)
橋本 隆志 (霧島市立医師会医療センター)
恒吉 雅也 (鹿児島厚生連病院)
川上 眞司 (今村総合病院)
藤田 泰弘 (ヘルスサポートセンター鹿児島)
事務局 : 日高 稔 (南風病院)

【令和4年度 鹿児島超音波研究会世話人】

代表 : 塩屋 晋吾 (霧島市立医師会医療センター)
世話人 : 西 憲文 (鹿児島厚生連病院)
國生 岳志 (指宿浩然会病院)
上釜 健作 (いづろ今村病院)
原口 織歌 (相良病院)
岩下 昌平 (鹿児島中央整形外科スポーツクリニック)
事務局 : 久保 幸子 (南風病院)

【参加者：会員】

日高稔 淵脇崇史 上釜健作 原口織歌 燃脇孝平 熊谷繁夫 渡邊義治 吉野健
平田勝 大迫俊一 萩原純久 神原健二 舟田悟 松下啓 脇田慎一 上川智弘
橋本隆志 二渡智英 恒吉雅也 穂山和章 下田知佳 西憲文 池田隆太 牧野竜大
中村遥佳 塩屋晋吾 吉村洋一 上舞優介 濱田睦美 中村克也 國生岳志 南正実
松山芳郎 丸尾美由紀 橋口満 武宮太 惠智徳 愛下剛 久保幸子 日高浩文
楠元亮太 松崎友香 坂口右己
(順不同)

2月11日(金)に始良市(蒲生体育館)にて令和3年度原子力防災訓練(避難退域時検査実施訓練)が行われました。例年であれば4カ所程度の地域に分かれて実施されますが、コロナ感染症拡大の状況を受けて1会場で最小の人数で実施されました。

診療放射線技師会からは、太田原会長と大迫の2名が代表として参加、今回は測定に用いる線量計の設定確認と、避難者の代表者検査、指定箇所検査、確認検査、簡易除染後の確認検査時の測定担当者に対する測定方法や測定時の注意点の指導を行いました。

これまでの原子力防災訓練では、検査を担当してきていましたが今回は初めて検査しているところを、近くで見ながら必要に応じてアドバイスしましたが、いろいろ気が付いたことがありました。

汚染検査時の、汚染有無の判断基準はGMサーベイメータで、各部位ごとに基準値である40,000cpmを越えていれば汚染となります。この時検査される住民に対して『40,000を超えていないので大丈夫でした。』と説明している場面がありましたが、数字は伝えない方がいいのでは？と感じました。

また、簡易除染の場面で手の甲に汚染ありの指示だけでは正しく除染の場所が伝わらないといった場面がありました。汚染検査時に汚染の場所を伝えるときには、誘導員や住民に対して汚染箇所をなるべく正確に伝える必要性を感じました。

今回は縮小した原子力防災訓練にはなりましたが、新しい発見もあり勉強になりました。次回以降の訓練にいたしていきたいと思います。



代表者検査の汚染検査

鹿児島国体、再び・・・

【南薩地域】 菊野病院 野中 康博

かごしま国体が来年 2023 年に開催されることをご存知でしょうか。また、長年“国体”として親しまれた「国民体育大会」も 2024 年から「国民スポーツ大会」と名称が変わることをご存知でしょうか？

2020 年開催予定の「かごしま国体」が新型コロナウイルス感染の影響で開催を見合わせ、2023 年に延期となったことは記憶に新しいことと思います。その延期開催が来年に迫っており、鹿児島県、各競技団体や役員、ボランティアのほか国体終了後に行われる全国障害者スポーツ大会関係者も“仕切り直し”に準備で大忙しになる年です。

国体は毎年 都道府県を持ち回りで開催しますが、鹿児島県においては 1972 年（昭和 47 年）“太陽国体”として開催されて以来、約半世紀ぶりとなります。地元開催に奮起する鹿児島県選手団は総合優勝である天皇杯を獲得、当時小学校に入る直前であった頃の私にも微かな記憶として残っています。

▼新型コロナウイルスの発生

感染の影響で 2020 鹿児島県に続き 2021 三重県でも開催されず、国体は 2 年連続行われていないこととなります。鹿児島県の場合は延期という形で開催日程を調整されましたが、過去に台風や地震などの災害による開催断念は事例があるものの感染影響による延期は極めて稀と言えます。三重県の場合は中止となりましたが、開催の可否で最大の鍵は地元の意向。ともに大会を主催する文部科学省、日本スポーツ協会（2018 年から日本体育協会から名称変更）は地元の意向を尊重せざるを得ないと言えます。何より選手、役員、観戦者の安全面の確保を重要視することで判断されるのは当然ですが、準備をしてきた関係者には想いもそれぞれです。南薩地区で行われる主な競技としてサッカーが南さつま市で、ソフトボールが南九州市で、なぎなたが枕崎市で、バトミントンが指宿市で行われます。開催期間中に不測のケガや体調不良に備えて医療体制も整わねばなりません。もちろん緊急に備えて我々放射線技師も脇役として臨まなければなりません。

国体開催地案（2021 年 08 月現在）

2020 年（令和 02 年）鹿児島県 →延期
2021 年（令和 03 年）三重県 →中止
2022 年（令和 04 年）栃木県
2023 年（令和 05 年）鹿児島県
2024 年（令和 06 年）佐賀県 決定
2025 年（令和 07 年）滋賀県 内定
2026 年（令和 08 年）青森県 内定
2027 年（令和 09 年）宮崎県 内々定
2028 年（令和 10 年）長野県 内々定
2029 年（令和 11 年）群馬県 内々定
2030 年（令和 12 年）島根県 内々定
※2024 年 佐賀大会から「国民スポーツ大会」に名称変更



▼ソフトボール競技との関り

私自身はソフトボール競技に深く関わっており、かごしま国体でも審判員や記録員、会場設営および管理、大会運営などの総務的な業務を兼務しながら、主は審判員、記録員として臨むこととなります。自身は小学 4 年で万世ソフトボールスポーツ少年団に入団、小 5 から投手。当時はまだ珍しい腕を回して投げる「ウィンドミル投法」としては加世田市（当時）で二人目だったという記憶があります。指導者にも恵まれ、技術的なもの、組織や礼儀など叩き込まれ、現在も交流を続ける中「スポーツは生涯続けなさい。何かに関わりなさい。」と後押しされ、のちに野球や陸上を経て社会人になって再びソフトボールに関わり、審判員、記録員とも第一種資格と日本体育協会のソフトボール競技指導者資格を取得しました。社会人女子チームの監督、スポーツ少年団の監督を務め、選手としては現在も所属する病院チームで監督兼投手として“現役”にこだわりながら頑張っています。

審判員、記録員の資格は第三種に始まり、第二種、第一種と認定試験があり、第三種は県大会、第二種は九州大会、第一種は全国大会を捌くことができます。第一種でも特に優れた技術を持つ審判員、記録員は女子ソフトボールの最高峰「日本女子リーグ」を捌くことができます。同リーグには昨年東京五輪で金メダル獲得した J A P A N メンバーでもある“伝説の投手”上野由岐子選手、“女子ソフト界の二刀流”藤田 倭選手（ともにビックカメラ高崎）など多くのスター選手を擁するリーグ戦です。

ちなみに・・・審判員、記録員 認定試験の例題を紹介します（各問い○か×か）。皆さん、わかりますか？

- Q1. 打者の振ったバットが捕手のミットに当たり手にケガをした。打者はアウトになる。(審判三種)
- Q2. 一死、走者一・二塁。打者が内野フライを打ったが野手がこれを落とした。しかし打者はアウトとなった。(審判三種)
- Q3. 一死、走者二塁。打者がライトフライを打ち、右翼手が捕った。二塁走者はタッチアップで三塁に進塁した。打者には犠打が記録される。(記録三種)
- Q4. 打者Aにカウント「1ボール2ストライク」から代打Bに交代した。その後Bは三振となったためBに三振が記録された。(記録二種)

※審判員、記録員も高齢化し、若い人材を求めています。興味のある方はぜひ踏み込んでみてください!!



▼かごしま国体の一年前となった2022年

話を国体に戻して・・・来年に迫った国体準備を要する今年は気持ちを向上させる一年、年末から来年初めになると準備は詰めめの段階。一般に国体準備は10年前からと言われています。10年とは大げさではありますが、開催4～5年前になると開催県への視察にも力を注ぎます。競技を観戦することも大事ですが、外で行う競技の場合は会場設備と運営面が大きなウェートを占めます。土や芝生の養生、段差が無いかな、練習会場の手配、交通量、案内板、駐車場(選手、役員、観戦者)、警備体制、宿泊および休憩設備、グッズ売り場、通信設備、応援席、雨天時の措置、救急対応、今で言えば感染防止対策は全力を注ぐ大きな問題です。

国体終了後に行われる障害者大会も忘れてはなりません。昨年末には鹿児島盲学校でグランドソフトボールの講習会があり出席しました。グランドソフトボールは目の不自由の方々の競技で通常球より大きい球をバットで打ち、音を頼りにプレーするものです。過去に何回も行われた講習会ですが、当初2020年に照準を合わせてきた選手団はガラリと替わり、新たなメンバーが関わっています。審判員、記録員および運営スタッフも同じで、この3年で大きく事情が替わるからです。私的に親しくしていた大先輩の審判員は2020かごしま国体を機に審判員として携わってから引退を決めていたようですが、感染影響で延期となったため不完全燃焼で終えたこととなります。

国体が延期になったとはいえ、感染が完全に収束したわけではありませんので今後も感染状態を気にしながらの準備となります。南薩地区においては指宿、知覧、川辺が会場となっていますので、ご都合良い方はぜひ観戦においでください。競技観戦も楽しみですが、審判員や記録員、運営スタッフなど競技外であたふた動き回る裏方を覗くのも観戦の醍醐味かもしれません。国体は大きなイベント・・・地元開催の縁を大切に、後悔の無いよう務めたいと思います。

▼2021年12月、鹿児島盲学校で行われたグランドソフトボールの講習会



▼2019年9月、国体リハーサル大会として行われた全日本総合選手権（知覧）



↑中学生ボランティアのミーティング。背中には選手のサインがいっぱい（役得!!）



*例題の回答

- A 1. × 捕手のミットがバットに当たると打撃妨害となる。ペナルティがあるのは打者ではなく捕手。故意に捕手のミットを叩けばもちろん打者がペナルティを受ける。
- A 2. ○ 無死または一死、走者一・二塁または満塁の場合、打者が内野フライを打った場合、たとえ野手が落球しても打者は自動的にアウトになる「インフィールドフライ」というルール適応がある。
- A 3. × タッチアップで犠打が記録されるのは、得点が入ったときだけ。あと送りバントが成功したときも犠打が記録される。
- A 4. × 打撃途中の代打は珍しいケースですが、カウントが2ストライクをとられた打者に打席責任があり、この場合は打者Aに三振が記録される。ちなみに代打Bがヒットを打てばBに安打が記録される。

漏洩線量測定事業のご案内

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会では、放射線を取扱う専門職として資格を有する団体の一般社会への利益還元事業と公益事業の一環として、放射線安全管理の啓発を兼ねた環境測定事業を実施しています。基本的には、該当施設会員と放射線管理士部会からの派遣技師と2名で実施する予定です。法令で規定してある測定はX線検査室の周囲だけではなく敷地内病室、居住区域、敷地境界も測定しなければなりません。その測定方法及び測定値の取扱いについての説明も致します。また、測定事業に併せて施設の放射線管理のアドバイスも行っております。些細な事でもご相談ください。

料金は、会員がいる施設が、基本料金2万円+測定料金1方向5千円、会員がいない施設は基本料金4万円、ただし、歯科医院等の場合は、基本料金は2万円となっています。2回目以降継続される場合は、測定料金が5%（最大20%まで）ずつ安くなります。

ご希望の施設がございましたら、見積等をご提示しますので下記電話メールにてご照会下さい。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 放射線管理士部会 担当 藤崎
Tel 0996 - 23 - 4418（川内市医師会立市民病院放射線課）
Mail kagosimart@gmail.com

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 令和3年度第4回理事会

1. 日時 令和4年2月5日 15時00分～
2. 場所 鹿児島県診療放射線技師会 事務所（Web開催）

3. 出席理事
今回は、新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生状況の中、開催について慎重に検討を重ねた結果、インターネットによるWEB会議とし、事務所への参加者も必要最小限とした。

参加理事：

太田原 美郎 藤崎 拓郎 渡邊 義治 西 憲文 大迫 勇
大迫 俊一

（Web会議システムを通じての出席）

野中 康博 脇田 慎一 前田 健一郎 坂口 右己 熊谷 繁夫
浮田 啓一郎 東 幸浩 奥 好史 岩元 博史 伊藤 大助
南 紫織 市來 守 堀上 英昭 大山 貴章 藤崎 誠

欠席理事：久保 ゆかり

監事：池田 睦・宮崎 信

4. 議長 会長：太田原 美郎
5. 議事録署名人 会長：太田原 美郎 ・ 監事：池田 睦・宮崎 信

6. 開会挨拶

7. 議題
議題 1 会長・副会長・各常務理事による活動報告（第17条7項）
議題 2 会員動向報告（第7条）：組織
議題 3 内部監査報告
議題 4 次年度計画（案）
議題 5 予算案
議題 6 その他
①広告について
②ホームページについて（西理事）
③定款等改定について（岩元理事）
④今後の予定について

8. 閉会挨拶

会を始めるにあたり定款の規定36条に則り、会長の太田原美郎を議長とし、直ちに議事に入った。

開会

議長より常務理事の過半数以上が出席しており、令和3年度第4回理事会の開催が宣言された。

一部理事はWeb会議システムを利用しての出席であるが、議長は、審議に先立ち出席者の姿及び音声が他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するときと同等に相互に円滑に意思の疎通ができることを確認した。

第1号議案 会長・副会長・各常務理事による活動報告（第17条7項）

会長（太田原）：

WEBが中心になってはいますが、会場での会議も多くあり要点をまとめて報告する。新しい役員になってから総会以降三役会議を定期的に設けるようにしている。メンバーは、会長・副会長・総務・財務の5名で定期的に集まり大枠を決めてから皆さんに提示をしている。会長としては、九州放射線医療技術学術大会（佐賀）が本年度は対面型で開催しこれに参加、東京で行われた第37回日本診療放射線技師学術大会は、Webと会場型でのハイブリッドで開催され、これも参加し会長会議にも出席。併用にするとなかなか参加者が非常に少なく参加費があまり見込めないため運営が大変といった意見が出ていた。今後の九州放射線医療技術学術大会は福岡が当番ですが、中村会長からは、可能な限り会場型で開催をしたいとの話があった。ハイブリットにすると会場を準備しないといけないが、参加者が集まらず経費だけがかかり運営が大変である。他には原子力災害関係の内容が最近多くなってきている。鹿児島県原子力災害医療ネットワーク会議には以前から鹿児島県診療放射線技師会として参加しているが、それとは別に全国規模の原子力災害対策協議会といった各省庁も入った会議がありますが、これにも参加するようになってきている。その中で総務省から住民の甲状腺簡易測定に関しては放射線技師がすべきであると考えを示したので、今後甲状腺の簡易測定に関しては放射線技師にお願いすることになるであろうとなった。ただ、ここに問題がひとつあって福島の際に甲状腺の測定をしたのはいいが、説明に関してリスクコミュニケーションがしっかりできていなかったということで、逆に測定をしたことによって住民が不安を持つようになったという経緯があり、この甲状腺簡易測定に関しては合わせてリスクコミュニケーションをしないといけない、また実際にこれを誰がするか問題になっている。本来は医師がすべきところではあるがマンパワーが足りないことが問題となっており、会長から今後放射線技師が行ってもいいのではないかと提案がなされたことの報告があった。

副会長[学術]（藤崎 拓郎）：

県技師会が主催するイベントや研修会の開催する人との調整や起案書・報告書の処理を行っている。書類に関しては最近、謝金等が振り込みに変更になったので修正を行っている。もう少し修正が必要となるがホームページも新しくなるのでそれに合わせて変更も検討している。

告示研修が3月6日に第1回目の開催が決定、軌道に乗るまでは当面は責任者として藤崎副会長が行う。1回目の開催場所は鹿児島医療技術専門学校のご協力をいただいて実施する。その他、WEBで各研究会や管理部、地域研修会が現在多く開催されている、理事の皆さんは、参加必須で、各施設の会員にも是非参加するように案内して欲しいとのお願いがあった。

副会長[表彰]（野中）：

昨年10月に久しぶりに表彰委員会を開催しました。その中で技師会の方から何年も推薦をされていないとの指摘があり、今回は叙勲と労働大臣表彰を出すことになった。関係理事の協力もあり締め切りまでに提出は終えています。現在も修正や追加書類の提出を引き続き行っている状況の報告がなされた。叙勲は以前川内市民病院や鹿児島大学病院に勤めておられた大久保光男さん、厚生労働大臣表彰には元医師会病院に勤めておられた橋口善治さんです。あと、鹿児島県内の表彰（地域世話人10年表彰・研究会および部会世話人10年表彰）が進んでいないため、今後はこちらに関しても進めていくことの報告がなされた。今年度2回目の表彰員会を3月に予定、感染状況を考慮して日程と会場の調整を行う。

総務（大迫 俊一）：

総務としての活動として、公文書の作成、三役会議をはじめとする各種会議への参加、初回事務所清掃のサポート、各研修会、研究会の配信準備とサポートについて報告がなされた。他に期間内の内容としては、総務省九州総合通信局と11月に開催された医療現場で安心・安全に電波を利用するための説明会についての面談の報告、12月に開催したメーカーに対する広告掲載説明会についての報告がなされた。次年度の広告の進捗については、2月5日時点で3社から申込書が届き、最終的には10社程度になる予定。広告の内容に関してもこれまでの会誌に広告を掲載するだけでなく、研究会の開始前や休憩の時間でも広告を掲示や、ホームページにもバナーの掲載を実施する予定である。あと、事務局用に携帯電話の購入、今後は坂元事務所にかかってきた電話に関しては全て事務局（総務理事）につながることであります。対応時間は業務時間内とし、その他は留守番電話の対応となる。

財務（渡邊）：

財務の活動は主にお金の出し入れが主になってきます。四半期毎に研究会とかで支払ったものやレシート等の証憑とかをまとめて会計士に送りますのでその作業、あとその資料作りの作業。あとJARTの会費が毎月振替口座の方に入りますので、そちらの方の処理や書類の作成。公益法人になってからの財務状況、どういったお金の使われ方をしてるのかとか、どれだけ収入が増えてるのか、減ってるのかを把握して来年度の予算作成を行っている。1月の業者対応のQTモバイルは、先ほど報告がありました事務局用の携帯電話です、こちらは事務局として封筒に記載する電話番号として作成しました。それに伴い電話の契約もBBIQにすることで金額を安くすることができるので変更となっています。また、契約を見直す過程で現在使用しているホームページに関してもこれまでは無料で作成していたと思っておりましたが、プロバイダー料として毎月5000円かかっている事がわかり、この点に関してもホームページがリニューアルに伴い費用がかからなくなる予定です。

学術（藤崎 誠）：

フレッシューズセミナーの講師、秋季学術大会で告示研修について話をしています。あと、九州放射医療技術学術大会（佐賀）に参加し、同時に教育委員の委員会もあったので出席。あとは、12月25日の告示研修とファシリテータの育成講習に出席しました。1月15日には、リーダー及びリーダー育成研修会を開催しています。

編集・広報（大迫 勇）：

現在、次の会報に向けて会長、各理事や研究会などからデータを集めているところです。現在は、まだ少ない状況ですが、直近の開催した研究会などからの開催報告をもらう予定になっています。あとは告示研修の案内も掲載予定です。

渡邊理事より、5月に各研究会の世話人を集めて今年度行ったWEB開催の内容や運営がどうであったか確認をする予定（各研究会運営会議（仮））ですが、その中で報告書や後抄録をどうするか話をしてみても今後につなげてみてはとの提案があった。実施に当たっては何かたき台があったほうが分かりやすいのではとの意見もあり、大迫勇理事に案を作成してもらい5月の会議で提案することとなった。

藤崎副会長からは、最近病院が新しくなっているところも多くあるので、施設紹介などを企画してみても提案がある。ただ、依頼するときには作成例などがあると作成する施設も書きやすい。施設紹介についても次回の広報誌から検討することとなった。

組織（伊藤）：

活動報告ですが、ホームページWGに参加、12月25日の告示研修とファシリテータの育成講習に出席しました。JARTの災害対策委員会で島根県原子力防災訓練に本日参加する予定になっていましたが急遽参加中止となりました。例年委員会から2名参加し全国的にもご高名な方が参加をしておりましたが、今回は日程の調整ができず、参加する予定でした。他県の防災訓練に参加するいい機会なので楽しみにしていましたが、コロナの拡大ということで残念ながら中止となりました。

第2号議案 新入会の方は理事会の承認（第7条）：組織

会員の動向ですが、本日時点で575名の会員数となっています。今年度の動向としては、入会が32名、転入4名、転出2名、退会が9名でした。昨年4月が550名ですので25名の増員となっています。

入会に関しては理事会の承認を取ることになっている。運営について総務大迫理事より会員管理について、入会に関してはその都度メールで回覧。転入、転出、退会があった場合は、その都度エクセルに追加で管理し毎月理事にメールで報告の提案がある。3、4年前からシステムが変わり動向を追いくくところもあるが、今後は定期的にメールで報告をすることとなった。

第3号議案 内部監査報告：総務

例年だと11月か12月に行っていましたが、本年度の前半はコロナ感染症の影響で活動のほとんどが中止または延期となっているため監査の対象がほとんどないため期末にまとめて行う事になっています。次回理事会で期末の監査報告については行います。

第4号議案 次年度計画(案)：総務

次年度の事業計画案について総務より報告がある。昨年は新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を踏まえた内容でしたが、次年度は現地開催またはWEB開催を併用した内容にしています。内容としては例年行っている事業を中心に記載していますが、変更点を中心に説明をします。

次年度の秋季学術大会は大島地域で開催することになっています。久保理事が担当となっているのでよろしくお願ひします。

新たに始める事業計画として2点あります。1点目が放射線教育事業です。こちらは小学校・中学校で放射線に関する正しい理解と、医療に欠かせないものであることを紹介。放射線教育の更なる充実を図るため、放射線に関する専門家としての診療放射線技師の社会的役割を果たすことを目的としています。これから始める内容ですので、学校・教育委員会とも調整も必要となるので、次年度は活動計画と実施できれば鹿児島市内の学校からできればと思います。

あと、組織拡大事業の内容として技師養成校への定期的な訪問により、技師業務の紹介、技師会活動への理解を深めることを目的とした活動を実施予定です。こちらに関しては、例年卒業生を対象に行ってきましたが、今後検討したいと思います。

第5号議案 予算案：財務

まず、現時点での鹿児島県診療放射線技師会の収支状況の報告をします。4月1日時点の前年度繰越残高は、1,163,926円に加えて事務所積立費が1400万円ぐらいある状況です。収入に関しては、JARTから振り込まれる県の会費などの収入で1,926,801円あります。まだ今年度の技師会費を払っていない未入金会費も750,000円予定があります。費用は、研究会の運営など公益目的で使用している金額が1,462,254円、また、その他の技師会が運営に使用している費用(共益)の金額が、1,433,506円かかっています。費用の合計2,895,760円が費用として使用した状況にあります。また、財務3要件(収支相償、公益目的事業費率、遊休財産保有制限)に関して説明があり、現時点では要件を満たしていない項目もあるが、今後研究会等も年度内にいくつか実施の予定もあるのでクリアする予定であることの報告があった。

次年度の予算案ですが、収入に関して前年度より会員も増えているので現在の会員数に合わせて変更しています。事業収益については、例年研究会等の参加費を計上していましたが、今年度は会員の会費は徴収していません、研究会で参加費を徴収すると参加人数が減ってしまうことにもつながるので、次年度も会員の参加費は徴収しないことで進めるため予算案では減額としています。広告収入に関しては、2年間実施していませんでしたが、次年度から始めることになっています。すでに4社から依頼は来ていますが、最終的には10社を超える予定なので少し多めの15社の450,000円で計上しています。日本放射線技師会業務委託費に関しては、毎月9月会費完納者を対象に一人当たり200円いただいています。今年度は428名分なのでその金額を計上しています。こちらに関しては9月完納の実績で入るお金になるので、9月完納の広報をお願いします。収入に関しては以上が主な内容になります。

費用に関しては、旅費交通費がWEB開催になっていることもあるので減額に、雑費に関してもWEB開催等の影響もありあまり使っていないので減額としています。

今年度の収入予算が、5,938,100円、支出の方が7,165,000円となり、収入より支出が多くなっていることより、財務3要件を満たすような予算案として計上をしています。

第6号議案 その他

①広告について：総務 大迫理事

昨年12月に次年度から行う広告に関する説明会を実施しました。参加企業は8社でした。現在4社から依頼は来ていますが、最終的には10社を超える予定です。次年度は会誌の広告以外にも、研究会の開始までの待機時間や休憩時間に広告を各社30秒程度、一回の研究会で数社流すことを計画中、また新しくなるホームページにはバナー広告を行う予定です。広告費用はそのままで内容を充実させ契約を増やしていきたいと思っています。

②ホームページについて：福利厚生 西理事

今回ホームページ制作を担当する会社より、現在の進捗について説明がある。これまで同様に様々な情報の発信をするだけでなく、会員専用の画面や、情報発信をメーリングリストによるものだけでなく、会員専用のLINEを用いた情報の発信についての説明があった。

現在4月のリニューアルに向けて順調に進んでおり、今後はホームページWGを中心に具体的な運用について検討していくことの説明がなされた。

③定款等改定について：総務 岩元理事

定款の改訂状況について報告がなされた。現在は、『議事録には、議長及び出席した理事が記名押印しなければならない。』となっていますが、現在のWEB開催の実情や今後のことを考えて、電子署名についての文言を追記し、『議事録を作成し議長及び出席した理事がこれに署名若しくは、記名押印又は電子署名をし、総会の日から10年間主たる事務所に備え置く。』とすることを検討中であることの説明があった。電子署名の候補としてアドビシステムのAdobe Signを検討。また、細則を含めてすべての内容を見直していることの報告があった。

今後は、総務を中心としたWGを立ち上げ進めていき、最終的には次年度の総会で承認をもらうことの確認がなされた。

④今後の予定について：

告示研修について：藤崎副会長より

告示研修の今後のスケジュールですが、年4回を目標に計画をしていきます。1回あたり48名の募集を行い、8名の6チームに分けて開催します。当日は8時受付、9時に開始し18時ぐらいの終了になる予定です。会場は鹿児島医療技術専門学校のご協力により、学校を使用させていただくことになり3月6日(日曜日)に第1回目を開催します。その後は、5月・8月・11月・1月・予備日として6月で、年4回実施する計画です。また、統一講習会も1回開催予定です。告示研修会の内容と統一講習会の内容とは全く別になり、また要望もあったので実施する予定となっています。講師には医師を1名と看護師を1名お願いしています。費用は、会員が1万円、非会員が2万円となっています。また、統一講習会を受講している方は、1週間早く応募ができるようになっています。

その他の今後の予定について：総務 大迫

- 4月2週目：令和4年第1回理事会
- 5月末：フレッシュャーズセミナー開催予定
- 6月12日：総会
- 7月02日：FRT九州（沖縄）
- 8月：リーダー及びリーダー育成研修会
- 9月16日～18日：第38回日本診療放射線技師学術大会
- 10月30日：第39回市民健康まつり
- 11月19日：第17回九州放射線医療技術学術大会（福岡）
- 12月10日：令和4年度九州地域放射線技師学術大会（鹿児島）

地域の研修会の非会員参加費について：藤崎副会長

現在、地域で行っている研修会へ非会員が参加するときも、2000円かかっている。地域で行う研修会に参加をしたいが参加費が高くてためらう非会員もいるし、声をかけるにも会費のことがあり誘いにくい。地域の横のつながりを深める目的と参加することにより技師会の取り組みについて理解を深めてもらい、ゆくゆくは入会にもつなげていきたい。

各事理からの意見を元に、次年度については各地域の研修会の参加費は、全ての参加者を無料とすることが決まった。次年度以降については実績等を踏まえて検討し、継続していく場合は規定の変更をすることとなった。

⑤その他：

研修会の登録締め切りについて：浮田理事

現在、研究会の参加登録締め切りが研究会の開催日の2週間前になっていますが、会員から少し早すぎるのではないかと意見をもらった。例えば2日前に変更は可能か？

配信担当の総務 大迫理事より、当初は参加 URL の案内を早めに案内したほうがいいのではと考えていたが、これまでの実績を元に2日前でも運用が可能であるので2日前の締め切りでも問題ないことの説明がなされた。これについても5月の研究会世話人を対象とした説明会でも案内する予定です。

閉会

議長より全ての議事が終了し、令和3年度第4回理事会の閉会が宣言された。

以上の決議を明確にするため。この議事録を作成し定款第38条2項に沿って、出席した長及び監事が記名押印する。

議事録署名人： 会長 太田原 美郎
監事： 池田 睦 宮崎 信
議事録作成者： 理事 大迫 俊一

令和4年02月11日

